



文命中学校だより

文命通信

<令和7年4月号>

「意欲」・「行動」
「思いやり」・「すてき」

生徒が輝く学校をめざして

春の暖かな風に包まれながら、木々が芽吹き、土の中の生き物たちの鼓動が聞こえてくるような活気あふれる季節が訪れる中、令和7年度を迎えることができました。生徒たちの健やかな成長に向けて、保護者や地域の皆様のご支援、ご協力をいただきながら、教職員一同、全力で努めてまいりますので、本年度もよろしくお願いいたします。

本年度は4月7日から学校が始まりました。新しい仲間との出会いの中で、気持ちも新たに始業式、入学式に臨んだ人もいたと思います。2、3年生は、上級生としての自覚と決意がにじみ出ていて、文命中学校をさらに盛り上げてくれるたくましさを感じられました。新入生は、緊張の中にも中学校生活への希望に満ちた前向きな姿勢と熱意を感じられました。全校生徒535名が力を合わせ、互いに切磋琢磨しながら成長し、皆さんの活躍が新たな歴史の1ページに深く刻まれることを期待しています。

4月は、期待と不安が入り混じる季節ですが、今までの自分を見つめ直し、ステップアップするチャンスでもあります。個々に目標や夢があるように、学校にも目標があることを、始業式、入学式で、生徒の皆さんにお話ししました。

<学校教育目標>

“豊かな心を持ち、心身共に健全な人間の育成”

- ・何事にも進んで取り組む意欲のある人間を育てる
- ・適切な判断力を持ち、行動できる人間を育てる
- ・相手を尊重し、思いやりに満ちた立ち振る舞いがすてきな人間を育てる

先生方は、この目標の達成に向け、日々、生徒の皆さんの活動を支援しています。今年度も4つのキーワード「意欲」「行動」「思いやり」「すてき」を常に意識しながら互いに成長していくことが、皆さんの目標や夢の達成に繋がっていくと信じています。生徒の皆さんが輝く学校になるよう、先生方も一生懸命取り組みますので、生徒の皆さんも伝統ある文命中学校の一員としての自信と誇りを培うとともに、素敵な生き方を追い求めてほしいと願っています。



クラス写真(ピロティにて)

学習評価・評定が2期制に変わります

本校では、学習指導要領に基づく生徒の資質・能力の育成に向けて授業改善に努めるとともに、学習評価の充実を図るため、昨年度、「音楽」「美術」「技術・家庭」の3教科について、年2回の評価・評定を先行的に実施し、10月と3月に通信票にて提示してまいりました。

このことを受け、「国語」「社会」「数学」「理科」「英語」「保健体育」の6教科における評価・評定の在り方についても校内で検討を重ね、学校運営協議会及び開成町教育委員会と協議のうえ、本年度（令和7年度）から全ての教科において、通信票の発行を年2回とする学習評価・評定の2期制を実施することといたしました。

<主な変更点>

- (1) 学習評価・評定の期間は、「前期（4月～9月）」、「学年（4月～3月）」の2期制とします。
- (2) 通信票は、「前期」として10月上旬に、「学年」として3月に発行します。（3年生は、この他に、進路指導用として11月末時点での評価・評定を改めて行います。）